



目 次

大学にとって図書館とは-----	1p
自著紹介 -----	2～5p
Welcome to S.G.U. Library-----	5p
世界の図書館-----	6～8p
私の薦める一冊-----	9～12p
図書館の疑問に答える F A Q s -----	12～14p
編集後記-----	14p

「大学にとって図書館とは」

札幌学院大学学長 布 施 晶 子

はじめに

はるか昔、私が学んだ大学の図書館は、良く言えば重厚、本音を言えば近寄りがたい雰囲気であった。何よりも、完全に閉架式であったから、膨大な数のカードをめくって借りたい本の記号を調べ、それを閲覧カードに記入して窓口にしだすと、館員が書庫にさがしに行き、待ちくたびれた頃、待望の本に出会うという仕組みであった。図書館に行くたびに、いつか書庫の中を自由に歩いてみたいと思った。大学1－2年の頃の私は、自分が何になりたいのか、何に向いてるのかも良くわからないままに、しかし、「何ものかになりたい」と切ない希望を抱いて、ひたすらに図書館に通い文学書や紀行文、伝記などを借り出して読みふけた。キャンパスの芝生に寝ころびながら、同じ嗜好の親友と読後感を交わしあうひとときは、無上の喜びの時であった。

社会学専攻を決めてからは、社会科学の古典を読み始めた。文庫本購入が精一杯の生活であった私には、大学図書館が所蔵する専門分野の古典や史資料はまことにありがたかった。先輩が博士論文を執筆するにあたり、明治時代の北海タイムス（北海道新聞の前身）の記事を抜き書きするのを手伝った時には、もっと簡便な方法はないものかと思った。半世紀近くを経て、いま、私たちはコピーを駆使し、何よりもコンピュータによる検索の恩恵を受けることが出来る。ほんとうに夢のような進歩である。

SGU の図書館

歳月を経て、多くの大学の図書館は開架式へと変わった。かつて、ロンドン大学 LSE の図書館を利用したときも、12、3世紀頃の貴重な史資料などが無造作に並ぶ書架の間を行き来しながら、歴史の谷間に紛れ込んだような緊張と興奮を味わった。800年も昔の書物が徹底的にコンピュータ化された貸し出し業務を経て手渡される流れを面白いと思った。

SGU の図書館もおおむね開架式である。ロンドン大学と比較すると雲泥の差ではあるがコンピュータ化も進み、特に検索が楽になった。蔵書数、雑誌の種類、史資料類、閲覧席数等、道内の私立大学の中でも決して見劣りはしない。なによりも SGU のライブラリアンは親切で丁寧に接してくれるのが心地よい。最近、CD や DVD、ビデオ、コンピュータ等も備えられ、明るく開放的な雰囲気である。若かりし頃、私が利用した図書館のあのかび臭いような雰囲気はかけらほども見られない。

大学にとって図書館とは

大学での4年間は、自由な心でものを見、自分の責任で判断し、欠点をも含めて自分自身を発見するための、かけがえのない時間。本を読み、他人の考えに触れ、友人と議論し、未知の出来事に刺激されながら、グローバルにものを考えられる人間に育っていく。本や映画の世界は現実の世界と同じくらい、いや現実の世界よりもより広くて大きい。率直に言って、大学での授業以上に、自分探しに役に立つ。本や映画の宝庫である図書館は大学のケルン（核）だと思う。人は大学のことを知の共同体と呼ぶが、古典から新刊まで、先人の知識と知恵が凝縮された本や映画が集積された図書館は、まさに知の共同体のケルンといえよう。学生はそこで、自らの知を高め、人間的な感性を豊かに育んでいく。試験の時、卒業論文執筆の時の活用は勿論、暇を作っては、1階から3階まで、書架の間を散歩して、自分の波長に合いそうな本、自分が興味をもてそうな本を見つけてほしい。そうした散歩のひとつ、専門書とにらめっこをしている研究者や職員の姿を垣間見てほしい。大学の図書館には一般教養や専門書だけでなくなかなか手に入らない歴史的な資料や古文書、海外の学術論文や最新のレポートも収集されている。

大学の図書館は、自分も知の共同体の一員であることが自覚できる最高の場所だと思う。

~~~~~  
自著紹介

## 『国富論』体系再考 ―商業社会の政治経済学体系―

お茶の水書房 2003年6月 稲村 勲 著

『国富論』出版200年を記念する1976年前後からのスミス研究は、「スミス・ルネサンス」と表現されるに相応しい成果を生み出してきている。こうしたスミス研究の「復興」は、20世紀を代表する高度経済成長路線がその構造限界を露呈してきていた時代状況を背景にしその状況が提起している問題への回答を模索する課題意識から生み出されてきたものと言えよう。その問題視角は、これまでの伝統的、通説的スミス（経済学）の解釈内容である自由放任・「見えざる手」・市場の自動調整機能から構成される政治経済学像の根本的問い直しの点に集約されよう。見直される基礎となる点は、市場社会形成期であった18世紀ヨーロッパの現実の歴史的時代状況を対象とし、時代が提起した問題を受けて生成したスコットランド啓蒙運動の流れの中におけるスミス思想の独自の位置とその全体像

（神学－法学－政治学－経済学）を再構成しようとする問題視角の共有として集約的に示すことができよう。

本著は、こうしたこの間の内外におけるスミス研究の動向を視野に入れつつ、スミス思想の全体像を問い直す研究の進展そのものがスミス経済学の内容の再検討、再解釈を求められる研究段階にきているという問題視角に立って、スミスの政治経済学体系に焦点をあて、『国富論』を対象にして試みたものである。

スミス政治経済学体系（『国富論』）再考の基本的論点は以下の諸点である。①スミス対象規定の再確定。従来の解釈は、スミス経済学の対象を19世紀産業資本主義と設定することを前提としたスミス解釈であった。この点を18世紀の歴史的現実を踏まえたスミス固有の「商業社会」として対象規定しその内容を再構成する。これは、18世紀の歴史的状況を背景とする政治経済学としてスミス政治経済学の内容を再解釈し、スミス政治経済学体系のリカード・マルクス基準からの解釈評価視点の克服を意図するものでもある。②「商業社会」の推進力原理とその担い手階層再把握。推進力原理は、分業原理を根本原理として、単純商品生産と資本制的商品生産との高労賃労働者（職人）を媒介とする流動的相互展開過程として捉えられる。そしてこの原理の担い手階層は、農業・工業・商業を担う、国民の中・下流の生活状態の人々である。③「商業社会」と政府の関係。「商業社会」の国家の原理的機能は、この社会の基盤である富裕の進歩のための政治的枠組みの形成維持と富裕進歩の助長として設定される。その上でスミスは、「商業社会」の歴史的現実の体制を「小さな階層」（特権商人と親方製造業者・大地主）と国家との癒着による重商主義体制として否定的に捉え、こうした現実体制の止揚に向けた歴史的未來への途筋における国家の不可欠の義務・役割を強調する。この限りでスミスの国家を、単に「夜警国家」・「安価な政府」と捉えることは誤りである。④スミスは「商業社会」における富裕の進歩（富の増進）とこの社会固有の徳性（現在ではその否定的現象がモラル・ハザード問題）の統一的維持促進の主体を推進力原理の担い手階層の中に見い出した。

市場社会の構造転換期という歴史的局面を迎え21世紀の市場社会の方向を問うとき、スミスの「商業社会」像の再検討という迂回的作業による時代が求める回答への接近が意味をもつと考えることができるのではなかろうか。



稲村 勲（経済学部：経済学史）

## 自著紹介

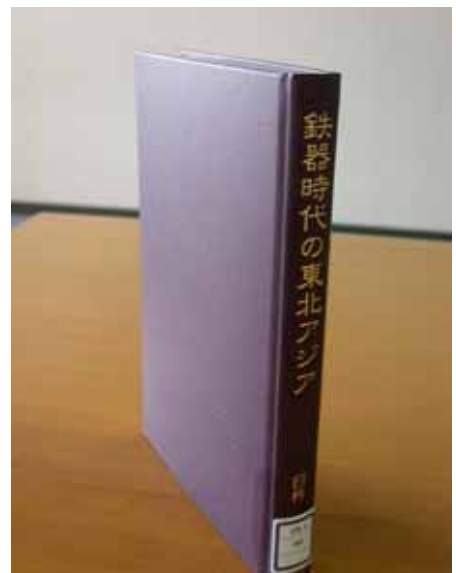
### 「鉄器時代の東北アジア」

同成社 2004年1月 白杵 勲 著

本書では、ロシア極東、中国東北部、モンゴルなど、東北アジア地域の、今から3千年前から千年ほど前までの時代をあつかった。この地域に暮らした人々が遺した遺跡・遺物などの考古学的資料から、当時の集団や社会の動きを考察したものである。この時期には、これらの地域に鉄の道具が導入され、「鉄器時代」として区分されている。そして、鉄やその道具の使用により、それらを大量に生産した中国などの先進地域と交易や政治的な関わりが増し、同時に経済・流通・社会組織などの変化が進んだ。古代・中世国家の形成へと向かった変革期であるともいえる。同じ動きは、弥生時代から奈良・平安時代ころまでの日本列島とも密接に関わっている。東北アジアなどというと、中国本土や朝鮮半島などと比べて、親近感をおぼえない人がほとんどであるし、ロシアを隣国と意識する人も少ないと思うが、古代においては環日本海にひとつの地域圏が形成され、特に北海道との関わりは深かった。詳しい内容は本書を見ていただければと思うが、一応、東北アジア全体を概観できる構成をとっている。

この研究は海外の考古学などといっても、エジプト・マヤ・中国などといった誰でも知っている、金ぴかの宝物がザクザク出るという一等地のそれと違い、きわめて地味な地域・分野である。私も学生時代は実はもう少し有名なシルクロードあたりの研究を志望していたのだが、恩師にすすめられ何となく始めてはまってしまった。当然、翻訳本や関連資料など国内にはほとんど無いので、本書に用いた文献や調査資料の多くが、私がロシア（ソ連）、中国、モンゴルなどの遺跡や研究所・大学などを訪れ、現地の研究者に協力いただきながら集めたものである。この10年でこれらの国々も開放が進み、それまでは軍事的な理由で立ち入りできなかった地域にも訪問が可能になった。

考古学に必要なのは、原資料に触れるということである。実際に遺跡に立ち地形・景観・風土を体験し、遺物を観察して新たな発見が可能となる。また、直接国外の研究者たちと意見・情報の交換をするうちに、視点・方法の違いや共通部分を具体的に知ることができる。しかし、開放が進んだとはいえ、現地調査は楽ではないし、議論もいい加減疲れてく



ることがある。雪の中をボートで震えながら遺跡に向かったり、熱や下痢でふらふらになりながら調査しながら、こういう過酷で見返りの少ない研究はもうやめようと思ったことは数知れない。しかし、帰国して春が来ると、今年の調査はどうするか、またウオッカを飲みながら議論してやろうなどという気になってくる。ちなみにこれらの国々の考古学者の多くはメチャ酒に強いので、付き合いにはだいぶ肝臓も酷使することになる。そんなウラもあるんだなーと思いながら、お読みいただければ幸いである。

臼杵 勲（人文学部：考古学）

## Welcome to S.G.U. Library

「書林」第 65 号の Welcome to S.G.U. Library は、商学部 3 年の田中琢也君にお話を聞きました。

- ・田中琢也君は、まっすぐ顔をあげて、はきはきと笑いながら話す様子から、学生生活が楽しくて仕方がないといった感じが伝わってくる。
- ・毎朝午前 7 時前に U 町にある自宅から片道 1 時間 30 分要するが、その間読書に専念しているという。毎日講義の空き時間は、図書館で主に DVD を利用しているそうだ。
- ・DVD は、英語の勉強になるし、仲間と話したり就職してからでも話題として出せると言うからすごく良いと思いますときっぱり。
- ・今までに観た中で感動した DVD について尋ねると、迷うことなく「フォレストガンプ」という。
- ・本学図書館には新作の DVD 資料がそろっているので楽しみです。と満足そうである
- ・サークル活動は、「どろんこの会」に所属している。自分から希望して入部したので、イベントの準備等々大変楽しいと話す。
- ・アルバイトは、家業の農業を優先して手伝っている関係上、時期が限定されるが、しているという。
- ・図書館の雰囲気は大好きです。軽雑誌コーナーの場所は、おしゃべりしている学生がたまに見られるが、他の閲覧室は静かで落ち着いた雰囲気をもっているという。
- ・友人と相談しながら勉強できるグループ学習室はお気に入りの空間だそうだ。
- ・講義は休むことはないという。

後輩の面倒見もよく、充実した学生生活を送っている様子が伺えた。





## <世界の図書館>

### メキシコ国立自治大学中央図書館

経済学部 高 懸 雄 治

私は、一昨年の半年間(2002年4～9月)、本学の留研制度によりメキシコ国立自治大学で研修した。同大学へは、すでに1991年度の1年間、以前に所属していた大学から派遣されており、またこの10年余の間に、この国での滞在も6回を数える。

メキシコ国立自治大学(Universidad Nacional Autónoma de México)は、メキシコ人の中ではUNAM(ウナム)の略称で親しまれており、その知名度はダントツであるようだ。それは、質・量の全てにおいて高い水準を維持しており、メキシコ随一あるいはラテンアメリカ有数と評価される所以であろう。

UNAM は、メキシコ市南西部の溶岩台地にある「大学都市」と呼ばれる広大な地域(800万m<sup>2</sup>)にあり、その規模は世界最大級のキャンパスと語られている。その歴史も古く、植民地時代の1553年、ラテンアメリカ最初の大学としてメキシコ大学とサン・マルコス大学(ペルー)が設立されたが、前者が、今日のUNAMの出自である。その後、1910年、当時のメキシコの代表的知識人で、文相にも就任したフスト・シエラ・メンデスが、近代的な大学として再生し、44年に現大学名へ、53年に「大学都市」地域への移転を完了した(なお、1989年、シエラの肖像とUNAM中央図書館の図案で、2000ペソ札が発行された。現在は、デノミの実施で使用不可)。

今日(2000年)、その広大なキャンパスを中心に13の学部、39の研究所、138の図書館を有し、学生数も総計24.5万人(その内訳は、大学院生1.7万人、大学生13.1万人、カレッジ・高校生等9.5万人など)である。日本の資料では、12万、15万、28.5万など様々な数字が示されるのが常であるが、それは、この大学が高校、専門学校などをも含んだ総合的な高等教育機関として構成されているからでもある。

一般に、欧米大学の場合、入学は容易だが卒業は至難との定評が存在するが、メキシコの場合も同様である。**<表1>**は、メキシコ市内の主要大学の卒業状況を示したものであるが、卒業(修了)者は入学者の7.6～32.2%であり、両極端の2校(UVM、ITAM)を除いた平均は14.5%にすぎない。「学士」の学位取得者は、さらに減少する。日本のように卒業＝学士ではなく、卒業論文を作成し審査に合格しなければならないからだ。

したがって、この国では学士・大卒者の希少価値が極めて高く、限られた者の知的ステイタスとなっている。歴代の大統領も、必ずLic.大統領〇〇〇と署名する。個々人も名刺にLic.〇〇〇と書いて、それを誇示するのだ。Lic.(licenciadoの略)とは学士・大卒者を意味する略語である。

<表Ⅰ> メキシコ主要大学の卒業状況(2001年)

| 大学名(略称)          | 入学者数(A) | 卒業者数(B) | (B)/(A) % | 学位取得者数(C) | (C)/(B) % |
|------------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| UNAM             | 78,975  | 11,590  | 14.8      | 7,267     | 62.7      |
| IPN              | 71,312  | 11,679  | 16.4      | 9,305     | 79.7      |
| UAM              | 41,160  | 4,360   | 10.6      | 4,313     | 98.9      |
| UNITEC           | 25,349  | 3,907   | 15.4      | 1,679     | 43.0      |
| UVM              | 12,529  | 949     | 7.6       | 914       | 96.3      |
| UIA              | 9,550   | 1,389   | 14.5      | 1,576     | 113.5     |
| La Salle         | 7,272   | 1,296   | 17.8      | 927       | 71.5      |
| Tec de Monterrey | 6,729   | 914     | 13.6      | 914       | 100.0     |
| ITAM             | 4,331   | 1,394   | 32.2      | 596       | 42.8      |
| UPN              | 4,199   | 540     | 12.9      | 223       | 41.3      |

メキシコは壁画で有名な国であり、あちこちに、その巨大なモニュメントがあって目を奪われる。なかでも、UNAM の中央図書館(11階建て)は、巨大な建物の外壁全体がモザイクで彩られており、この国の代表的な建築物の一つとして、観光ガイドなどでも紹介されている。



この建物は、メキシコ人建築家・画家フアン・オゴルマン(1905～82年)が、今から約半世紀前(1949～52年)に計画・指揮して完成したものである。4つの壁面は、各々が東西南北に向けられており、各面の壁画には各々のテーマが与えられているという。

まず北面は、アステカ文明がテーマで、中央に太陽とウチワサボテンの上にワシが配置され、トラロックとケツァルコアトルの神々が描かれている(アステカの伝説)。

南面つまり正面は、二つの視点からメキシコのコンキスタ(スペインによる征服)が形象

されている。すなわち、一方では布教の精神性が、他方では戦闘による先住民たちの降服を。同時に、プトレマイオスとコペルニクスの天文学的構図が想定され、二つの巨大な円が平行して正面に位置する。

東面は、あらゆるものの根源、原子の世界(宇宙・科学)が想像されているが、ここでもまた、社会的闘争の情景が描かれる。

最後に、交通量の激しいインスルヘンテス（反乱）通りに面した西面は、盾形の UNAM の校章がくっきりと描かれ、大学と学生達の役割の大きさが象徴されている。

こうして、この中央図書館のモザイク壁画は、メキシコという国家と国民の過去・現在・未来の強烈なエネルギーを物語る巨大絵巻といえよう。

このような、UNAM のシンボルとしての中央図書館は、1956年に機能を開始した。11階建ての館内には、窓がほとんどなく(1階以外は小さな明り取りだけ)、中央に階段とエレベーターがあり、その両側には専門分野ごとの書庫と閲覧室が各階に配置されている。

図書館を利用する学生は、もちろん多い(現地の新聞によれば、年間利用者3,200万人)。一つは、書籍の価格が非常に高いこと。もう一つは、とにかく宿題(tarea)が多く、勉強しないことには卒業できないことだ。図書館の現状は、**<表Ⅱ>**の通りであるが、UNAM 全体で514万冊という蔵書は、経済的に苦しい学生たちの勉学をも支援する強力な基盤となっているのである(なお、日曜日を含めて8:30～21:30まで開館)。

**<表Ⅱ> UNAM の図書館サービス(2000年)**

| 所属機関(数)     | 図書館数 | 2000年追加蔵書数 |         |        |        |        |         | 総蔵書数      |           |
|-------------|------|------------|---------|--------|--------|--------|---------|-----------|-----------|
|             |      | 購入         |         | 寄贈     |        | 合計     |         |           |           |
|             |      | タイトル数      | 冊数      | タイトル数  | 冊数     | タイトル数  | 冊数      | タイトル数     | 冊数        |
| 国立高等学校(9)   | 10   | 6,206      | 22,258  | 2,052  | 2,999  | 8,258  | 25,257  | 94,879    | 386,646   |
| カレッジ(5)     | 6    | 3,355      | 21,888  | 408    | 438    | 3,763  | 22,326  | 63,024    | 906,859   |
| 国立専門学校(4)   | 5    | 2,917      | 8,316   | 1,107  | 1,467  | 4,024  | 9,783   | 60,123    | 166,775   |
| 学部(13)      | 38   | 12,133     | 33,098  | 3,655  | 6,295  | 15,788 | 39,393  | 479,449   | 1,386,482 |
| 学際的機関(5)    | 7    | 10,844     | 33,838  | 3,895  | 5,447  | 14,739 | 39,285  | 198,315   | 969,020   |
| 自然系研究所(23)  | 31   | 8,933      | 9,831   | 1,954  | 2,112  | 10,887 | 11,943  | 236,562   | 272,882   |
| 人文系研究所(16)  | 18   | 8,796      | 9,381   | 3,848  | 4,347  | 12,644 | 13,728  | 425,479   | 507,021   |
| その他付属機関(19) | 23   | 18,844     | 26,068  | 1,219  | 1,456  | 20,063 | 27,524  | 270,398   | 502,193   |
| 行政機関        |      | 648        | 688     | 94     | 107    | 742    | 795     | 29,162    | 42,769    |
| 合計          | 138  | 72,676     | 165,366 | 18,232 | 24,668 | 90,908 | 190,034 | 1,857,391 | 5,140,647 |

#### <参考文献>

- ・ Sergio Aguayo Quezada, El Almanaque del Distrito Federal, Hechos Confiables, dic. de 2003.
- ・ La Agenda Estadística 2001, UNAM, enero de 2002.
- ・ El Universal, 4 de ago. de 2002.



## 私の薦める1冊

### 「魔法使いハウルと火の悪魔」

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ作／西村醇子訳      2002 年 11 月      徳間書店

教務課職員 末 永 文 乃

「千と千尋の神隠し」が、日本映画歴代 No.1 の興収 303 億円を記録し、ベルリン国際映画祭で金熊賞を獲得したことが記憶に新しい、宮崎駿監督。彼は次回の映画作品は、「ハウルの動く城」であると発表しました。

今年公開予定のこの作品は 1986 年に英国で刊行された作家ダイアナ・ウィン・ジョーンズ氏の児童文学「魔法使いハウルと火の悪魔」が原作。

この映画に関しての公開している情報はかなり少ないようですが、どうやら原作に忠実、とは言えないようです。そのため、原作と映画それぞれ別のストーリーが楽しめるようなので、普段映画を見る前に原作を見ないようにしている人も、ぜひ原作を読んでみることをお勧めします。

さて、この「魔法使いハウルと火の悪魔」、魔法をかけられ 90 歳のおばあさんになってしまった 18 歳の少女ソフィーと魔法使いのハウルの恋を、魔法と科学が混在する 19 世紀の欧州という舞台設定で描くファンタジーで、日本では 1997 年に初めて翻訳出版されました。



所在：1 層書架 和書

請求番号：933/J ON

魔法が本当に存在する国“インガリー”で、三人姉妹の長女に生まれたソフィー。彼女の住む“がやがや町”に噂が立つ。

「魔法使いハウルが住処を近くに移動させてきたらしい。」真っ黒で恐ろしげな空中の城は、もくもく黒煙を吐きながら移動し人々を怯えさせていた。なにしろハウルの趣味が、若い娘を捕らえその魂を抜き取ることだというのはかなり有名だったからだ。

そんな噂に目もくれる暇もないほど働いていたソフィーに、ある日、とんでもない災難がふりかかる。『荒地の魔女』に呪いをかけられ、90 歳の老婆にされてしまったのだ。家族を驚かせたくないと言ったソフィーは魔法を解いてもらうため空中の城にもぐりこみ、自惚れ屋で移り気な若い魔法使いハウルのもとに、掃除婦として住み込んだ。

真面目な弟子、火の悪魔に犬人間。皆で魔女と戦おうとしたけれど…？

この作者のすごいところは、何気なく登場していた人や物にもちゃんと意味があって、それらが最終的には全てがきちんと繋がっていたということを、無理なくすっきり種明かししてくれるところであると言えるでしょう。「魔法使いハウルと火の悪魔」の姉妹編「ア

「ブダラと空飛ぶ絨毯」もお薦めの一冊です。ともに本学の蔵書にありますので、あっと驚くような仕掛けが満載の、こちらも読んでみてはいかがでしょうか。

#### ◇作者について

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ。彼女は 70 年代に最初の作品を発表してから、今も活躍され続けておられる作家さんです。オックスフォード大学セントアンズ校では、現在公開中の映画『ロード・オブ・ザ・リング』の原作、「指輪物語」の作者トルキンに師事しました。

英語圏では著名な作家ですが、日本での未訳作品は多数あります。代表的なシリーズは、空中の城シリーズ、Dalemark Quartet(デールマーク 4 部作 未訳)など。

訳出された作品は、ほかにガーディアン賞を受賞した「魔女集会通り 26 番地」(催成社刊)、「9 年目の魔法」「わたしが幽霊だった時」(東京創元社刊)、「いたずらロバート」(ほるぷ出版) があります。

#### 私の薦める 1 冊

「レヴォリューション No.3」 金城一紀 著 講談社 2001 年 10 月

社会情報学部 3 年 高橋博明

今回、自分がお勧めする本は、金城一紀さんの本です。

金城一紀といえば、「GO」の作者として有名な人ですが、今回は直木賞受賞第一作の「レヴォリューション、NO. 3」という本を紹介します。

この話は新宿にあるオチコボレ男子高校 3 年生の物語です。話は 3 部に分かれており、最初の話は主人公たちが通っている高校生の生物教師 米倉 (通称ドクター・モロー) が授業中に言った「君たち、世界を変えてみたくはないか？」の一言から始まりました。「難攻不落の女子高の門を、卒業までに必ず突破してみせる！」と決めた高校生たちの溢れるパワーと感性がきらめく青春を描いた物語になっています。

2 部は 1 部の続きで死んでしまった友達のヒロシの墓参りへ行こうとするがまた一騒動が・・・。

その一方主人公の南方にも待望の彼女が出来た・・・。  
ここでも彼らの溢れるパワーと感性がきらめく青春が描かれています。

自分は、2 部が一番のお気に入りです。

3 部は少し長編になっており、ストーカーの物語です。時期は一部・2 部より少し前の話で、夏休み中、暇をしている主人公に友達から「美女が命を狙われているんだ」という



電話がかかってきたことから始まります。

しかし、これは大きな事件の幕開けだったのです。

話を要約するとこんな感じです。自分は正直大学に入るまであまり本を読まない人でしたが、長期休みになると大学図書館ではかなり長い間本を借りられるので試しにいろいろ借りてみたところ本にはまりました。

特に金城一紀さんの本はかなりはまり、他にも「GO」や「対話篇」、「FLY, DAADY, FLY」という本が発売されていますが、全部読みました。

これらもお勧めなので、ぜひ読んでください。特に「GO」と「レヴォリューション、NO. 3」は大学図書館でも借りられるので興味を持った方は読んでみてください。

~~~~~  
私の薦める1冊

「ムーンライト・シャドウ」 （「キッチン」所収）

吉本ばなな著 角川書店 1998年6月
人文学部人間科学科3年 杉本 暁子

私は小さい頃から活字が好きだ。常に読みかけの本があるのは今も昔も変わらないが、何度も読み返しているのは多分この物語だけだろうと思う。登場人物や淡々とした空気感、映像が浮かんでくるような文章がとても好きである。これは、著者が大学の卒業制作のために初めて友達以外の人に読んでもらうために書いた短編であり、彼女のベストセラー作品「キッチン」に収録されている。

交通事故で恋人の等を失ったさつきは、自分を保つために早朝ジョギングをしたり、友達と過ごしたりビデオを見たりして、必死に喪失感を忘れようと過ごしている。等の弟、柊は等と一緒に亡くなった彼の恋人ゆみこの形見のセーラー服を着て過ごす、一見変わった少年だ。

ある日さつきはジョギング中に不思議な女性うららと出会う。そのことがきっかけで、止まったままだった時間が動き出すまでの物語だ。

“はっと目覚めて自分の本当にいる場所がわかる時の深い闇におびえ”ながら、“大丈夫、いつかはここを抜ける日がやってくる”と信じて体や心を動かし続ける、けれど“先のことを考えるとぞっとするくらい淋しい”という状態。自分の存在を委ねられるほど大切な人の喪失というのは、どれほど深い悲しみだろうか。自信と不安が交互にやってきて、これはいつまで続くのかと途方に暮れてしまう。それでもこの作品の登場人物たちは、それぞれの事情を抱えながらも「この先も生きて



いかなければならない」ということを自覚していて、右往左往しながら何とか立ち上がろうとしている。その気持ちが別の形となって現れ、彼らを「先」へと向かわせることになるのだ。

“ひとつのキャラバンが終わり、また次がはじまる。また会える人もいる。二度と会えない人もいる。いつの間にか去る人、すれ違うだけの人。私はあいさつを交わしながら、どんどん澄んでゆくような気がします。流れる川を見つめながら、生きねばなりません” 彼女たちの中に静かな悲しみとして、その経験は残っていくだろう。けれど、それは同時に強さとなって彼女たちを支えるのかもしれない。だから、この物語を読むと苦しみの向こうにある夜明けを信じることができ、しゃんとした気持ちになる。一つ一つの出会いや別れを大切に、丁寧に生きていこうという気持ちになる。

図書館の疑問に答える

FAQs

皆さんからこれまでに寄せられた質問、意見と回答をまとめてみました。これからも順次更新してホームページで公開していきますのでご活用下さい。

Webcat Plus について

Q Webcat Plus の使い方が書かれているパンフレットをパソコンの隣に置いてもらいたい。

A 図書館のホームページがリニューアルされました。ホームページのトップ画面から

Nacsis—Webcat Plus を使えます。使い方も紹介されていますのでご利用ください。

雑誌について

Q ＊雑誌名は分からなくてもある一つのキーワードだけで検索できますか？

＊雑誌に書かれている内容しか分からない場合、その雑誌を検索することは出来ますか？

A 図書館のホームページ上の**国立国会図書館 OPAC** を使って検索出来ます。

雑誌記事索引の検索／申込をクリックして下さい。次画面の論題名のスペースにキーワード又は内

容を入力して下さい。単語で入力して検索ボタンをクリックします。

例：「アメリカの BSE の騒動で吉野家が牛丼をやめる」この内容が載っている雑誌を調べる。

入力例① アメリカ□BSE

入力例② 吉野家□BSE

入力例③ BSE□牛丼

Q どんな資料からどんな資料までを「雑誌」と呼べるのですか？

A とてもいい質問ですね。雑誌は定期刊行物とも呼ばれ定期的（毎日、週刊、月刊、年刊等）に発行されます。資料の表紙または裏表紙に ISSN 番号または出版年、月、日、巻、号等が表示されている場合は雑誌と呼べると思います。因みに **ISSN** 番号とは **I**nternational **S**tandard **S**erial **N**umber（国際標準逐次刊行物番号）と呼ばれ逐次刊行物ごとの国際的固有番号です。

図書の利用について

Q 新刊の図書はどれくらいで書架に並ぶのですか？

A OPAC で検索して貸出中でないのに書架に並んでいない場合があります。そういう場合は視聴覚室に展示している新着図書案内の書架もチェックしてみてください。2 週間ほど展示して書架に並びますが展示中も勿論借りることが出来ます。

こんな資料はどこで見つける？

Q ＊公開されている政府の公文書などの検索は可能でしょうか。

＊データ（表）の見つけ方がよくわからない。

A 政府の公文書は**国立国会図書館のホームページ**の利用をお勧め致します。本学図書館の

ホームページ上の**国立国会図書館 OPAC** から**国立国会図書館のホームページ**へリンク出来ます。データ（表）の見つけ方はどの内容のデータを見つけるかによりますが統計資料をお勧め致します。本学図書館のホームページ上の**統計資料の探し方**から**総務省統計局・統計**センターへリンク出来ます。

他の図書館から取寄せ

Q ＊大学の図書館で探している本が無い場合、連携している図書館から本を取寄せられますか？

＊この大学にある学部以外の学部に関する雑誌（しかも専門分野）が見当たらない場合は他から取寄せしていただけるのでしょうか？

＊読みたいと思っていた雑誌が無い場合、必ずどこから取寄せてもらえるのでしょうか？

- ＊北海道で売っていない雑誌を取寄せることができますか？
- ＊海外の文献が必要になった場合は日本の図書館でも取寄せることは可能か？

A 本学図書館に所蔵していない資料は基本的に国内外を問わず取寄せ出来ます。

図書の取寄せは10日前後で届きます。料金は無料です。雑誌の取寄せは出来ませんが雑誌の中の必要な論文のみ複写で取寄せが出来ます。但し複写料金と送料は自己負担となります。勿論海外から資料の取寄せは出来ます。海外からの取寄せは図書、雑誌論文のどちらも料金が掛かります。取寄せの期間は1ヶ月ほどかかります。資料が存在する限りどこからでも取寄せの可能性はありますが、まず自分の図書館の資料をきっちり使いこなすことをお勧めします。

~~~~~

## 編集後記

やわらかな日差しの中に、新学期を迎えキャンパスは活気ついています。

図書館報「書林」第65号は、今までの図書館報にはなかったことですが、巻頭言に本年4月より新しく学長となりました布施晶子先生にお願いしました。

また、新年度準備等でご多用中にもかかわらず原稿をお寄せ下さいました教職員の方々をはじめ学生の皆さんに深く感謝申し上げます。

ホームページで見ることができる「書林」として2回目の発行となりました。図書館と利用者の皆様を結ぶ広報誌として、内容の充実に努めますので今後ともよろしくお願いいたします。

~~~~~

札幌学院大学図書館報「書林」第65号について

- ＊掲載記事の著作権は札幌学院大学図書館にあります。
- ＊記事・写真の無断転載は禁止します。
- ＊紹介図書の写真については、各出版社から掲載許諾を頂いております。許諾を頂きました各出版社の皆様にご心からお礼申し上げます。

~~~~~